

# 手をつなごう2008

平成21年3月2日  
岡山県立東備養護学校  
支援部だよりNO. 26

## 支援部講座

# リライト教材を勉強しよう③



いよいよ最終回となった今回は、小学校低学年・中学年・高学年、中学校のグループに分かれて教科書をリライトしてみました。さすが2回目の演習だけあって、スムーズに話し合いが進み、各グループともどんどんリライトしていきました。そしてグループ毎にどういう子どもを想定してリライトしたのか、どういふ点を工夫したのかなどを発表しました。

光元先生からは、「内容が分かったら教科書が分かるので、まず内容が分かるような工夫が大切。」「教材を通していろんな心情に触れていくことが大切。そういう学習を積み重ねることによって子どもが変わっていくのではないか。」「文章を入れ替えてもいいので、子どもが分かるように書き替えるなどして、子どもの特性にきちんと向き合った教材を作る。できるようになったら教科書に戻る。教科書で学習することの意味はとても大きい。」「その子どもが困っていることをなくすためにどうしたらいいかを考える。」「学びを仕掛けるリライト教材、よく理解できる子どもの学びをさらに深めるためのリライト教材を考えていって欲しい。いろんな子どもがいる中で使って行って欲しい。」など、具体的なお助言をたくさんいただきました。

## アンケートより

- ・本校の特別支援学級の子どもに使ってみて非常に有効であることを実感しています。これからも研修を積んで自分でもリライトに挑戦してみたいと思います。
- ・対象の子どもを明確に決めることで文章の表現や長さをどうするか考えることができるとわかりました。実践してみると作るのに労力がかかることを感じましたが、その分子どもたちが意欲的に取り組めたらいいと思います。2年生の「スーホーの白い馬」で取り組んでみようと思います。
- ・演習で子どもの姿を思い浮かべながらリライトしてみて勉強になりました。4人集まるといろいろなアイデアや言い回しができるものだなと感じました。今、学校で「モチモチの木」をリライトして勉強しています。子どもが楽しそうにしています。
- ・3回にわたり詳しく教えていただき、また演習形式だったために本当に分かりやすい研修でした。学年を分けての3回目でしたが他の学年の先生方のリライトも大変参考になりました。今後に生かしたいです。
- ・子どもの実態を知ってリライトすることの大切さが実践を通して分かりかけた気がします。子どもに理解しやすくすることは何においても大切で、こちらも楽しみながら何事においても進めていきたい思いになれたことに感謝しています。リライトはアイデアと優しい思いがつまっていますね。3回のシリーズ、仲間と一緒にとてもおもしろかったです！
- ・リライト教材の存在とその意義が本当によくわかりました。通常学級で、できる子がさらに理解を深めるように使えればもっと広がる可能性があると感じました。

